＊　園長のひとりごと

今年の入園式も、昨年と同様保護者皆様のご理解とご協力のもと、２部構成で実施することができ新年度の始まりを迎える事が出来ましたが、３月後半からコロナ感染症や他の感染症の発症状況から、出席を見合わせた保護者の皆様もいらっしゃったかと存じます。

連休明けの５月８日よりコロナ感染症がインフルエンザと同様の５類の感染症に分類されることになり、マスクや検温実施等の体制も変更が想定されており、マスクの着用なども「任意」となり、一部の報道では第９波到来の可能性について伝えているところもあるようです。

実際に、学校の卒業式等でのマスク着用が変更になった頃より感染者数の推移も微増・微減を繰り返しており、５月のゴールデンウィークを控えかつての自粛モードも一掃され、観光地・行楽地での人混みが予想されております。

５類への移行により感染者数の変動があるかもしれませんが、必要以上の警戒ではなく正しく恐れながらこのコロナ感染症と付き合っていく術を、身に着けて行くしか無いのかも知れません。

既に、入園式や登降園の際に２月から供用開始致しました新園舎をご覧いただいているかと思いますが、施設整備全般と致しましては、現在工事中の送迎駐車場や園庭フェンスの整備の後、園庭遊具等の設置と芝張り作業とその養生期間などの関係から、自由に園庭を使えるようになるのは７月に入ってからかと思います。この間に、保護者皆様にご利用いただく送迎駐車場の縁石の切下げも予定しておりますが、工事完了まで十分ご注意の上ご利用頂ければと存じます。

４月２１日には、すみれ組幼年消防隊発足式が旭川市消防本部より澤田消防指令長にご臨席いただき、最初の活動として近隣スーパーでの火災予防啓蒙チラシ配布を行うことができました。同様に各保育室でも日常の教育・保育が始まっております。

入園式以来の初めて連休を間もなく迎えることとなりますが、この機会に保護者の皆様も正しく恐れながらゆったりとした時間をお楽しみ頂き、ご家族皆様でリフレッシュされてみてはいかがでしょうか。